

令和7年度 葉山町議会9月定例会  
一般質問プレゼンテーション資料  
2025.10/6 (MON)

1. 義務教育・学校教育の環境整備について
  - A) 不登校対策について
    - ①不登校支援事業について
    - ②児童館の有効利活用について
  - B) 学校再整備の進め方について
2. 住み続けたい町にするための施策について
  - A) 電動階段昇降機の整備について
  - B) 防災・減災力強化、認識と周知方法について
3. 庁舎内の環境整備について
  - A) 庁舎内職員の写真名簿作成・開示について

Presenter : Jissei Ishioka



# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 不登校対策について

令和7年6月定例会のリマインド

県内ではまだまだ先進的な取り組みとなるご決断に心から感謝します!!



令和5年第3回定例会で初めて不登校対策について触れてからちょうど2年が経ち、ようやく教育長から、フリースクール補助制度ついて「スキームはこれからだが、なるべく早めに事業化できるように進めて行く」とのお言葉を頂く事が出来ました。

こうした決断の背景には、今も尚、小中学校に馴染めないでいる(不登校)児童・生徒の数が増え続けている現状があります。

### ◆不登校児童数

・令和元年(2019年)からの5年間での上昇率 ⇒ 353%

### ◆不登校生徒数

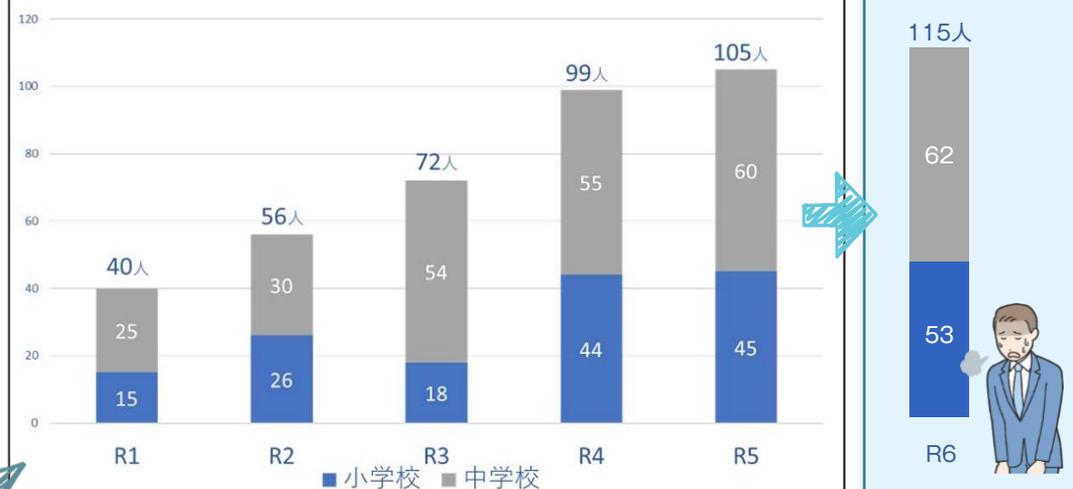
・令和元度(2019年)からの5年間での上昇率 ⇒ 260%



Q1. 不登校の児童生徒数がここ2~3年で急増している事の分析は出来ているか?

⇒ 令和3年度までは、小学校から中学校に進級した事での、最初の躓きだったり、環境や学習量等の変化が大きく起因するものだと想像していたのですが…???

不登校児童生徒数の推移 (各年度末時点)



※葉山町教育ビジョン 2025.4 + ヒアリング調査より

葉山町小中学校全体の児童生徒数 = 約2,495人(教育委員会資料より)

葉山町全体の不登校児童生徒数の割合 ⇒ 約4.6%(ほぼ全国平均レベル)

全国的には同様の問題をどう分析しているのかな?

次のページでは、文部科学省をはじめとする他機関や、調査団体の分析データから考察してみます。



# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 不登校対策について

### 不登校に関する状況の分析

### 小・中学校における不登校の状況について

#### 不登校児童生徒について把握した事実

	不登校児童生徒数	いじめの被害の情報や相談があった	いじめ被害を除く友人関係をめぐり問題の情報や相談があった	教職員との関係をめぐり問題の情報や相談があった	学業不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	学校のきまり等に関する相談があった	転編入学、進級時の不適応による相談があった	家庭生活の変化に関する情報や相談があった	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった	生活リズムの不調に関する相談があった	あそび、非行に関する情報や相談があった	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	不安・抑うつに関する相談があった	障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった	障害(疑い含む)以外の求めや相談があった	個別の配慮(障害(疑い含む)以外)についての求めや相談があった
小学校	130,370	2,350	14,951	5,735	19,124	2,622	4,288	12,130	22,116	31,937	2,992	42,014	29,549	11,454	11,096	8.8%
		1.8%	11.5%	4.4%	14.7%	2.0%	3.3%	9.3%	17.0%	24.5%	2.3%	32.2%	22.7%	8.8%	8.5%	
中学校	216,112	2,113	31,021	4,548	33,423	4,223	9,693	12,822	20,854	47,701	8,630	69,617	50,643	12,676	11,871	5.5%
		1.0%	14.4%	2.1%	15.5%	2.0%	4.5%	5.9%	9.6%	22.1%	4.0%	32.2%	23.4%	5.9%	5.5%	
合計	346,482	4,463	45,972	10,283	52,547	6,845	13,981	24,952	42,970	79,638	11,622	111,631	80,192	24,130	22,967	6.6%
		1.3%	13.3%	3.0%	15.2%	2.0%	4.0%	7.2%	12.4%	23.0%	3.4%	32.2%	23.1%	7.0%	6.6%	

※ 「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した不登校児童生徒全員につき、当てはまるものをすべて回答。  
 ※ 下段は、不登校児童生徒数に対する割合。  
 ※ 「個別の配慮(障害(疑い含む)以外)についての求めや相談があった。」は、障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援以外の個別の配慮を指す。

※ 「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」 文部科学省HPより

### 令和5年度 児童生徒全体における不登校の原因

原因	割合
いじめ	1.3%
いじめを除く友人関係をめぐり問題	13.3%
教職員との関係をめぐり問題	3.0%
学業不振	15.2%
学校のきまり等をめぐり問題	2.0%
入学、転編入学、進級時の不適応	4.0%
家庭の生活環境の急激な変化	7.2%
親子の関わり方	12.4%
家庭内の不和	7.2%
生活リズムの乱れ、あそび、非行	3.4%
無気力、不安	55.3%

※ 「サブスタ」不登校になる原因は？文科省の情報から増加の背景や対応法を解説！ 2025/03/12

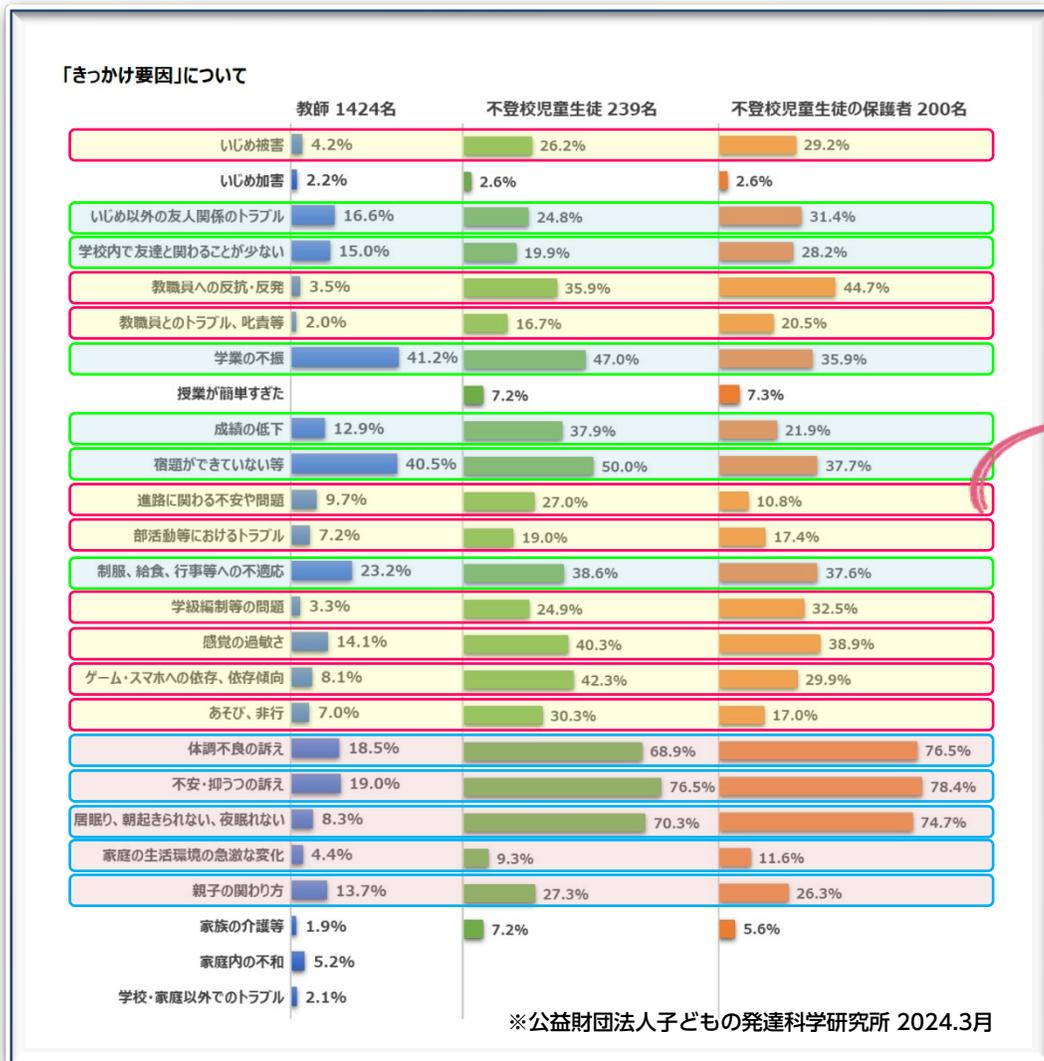
◆学校が原因 = 38.8%    ◆家庭が原因 = 26.8%    ◆本人が原因 = 58.7%

Q2. こうした原因の分類についてどう思うか？特に、本人が原因の不登校という数字の大きさをどう分析するか？

⇒ 「無気力」の陰に潜む「背景」や「症状」をしっかりと分析することで、何かしら環境を変えらる糸口になるのでは？

# 義務教育・学校教育の環境整備について

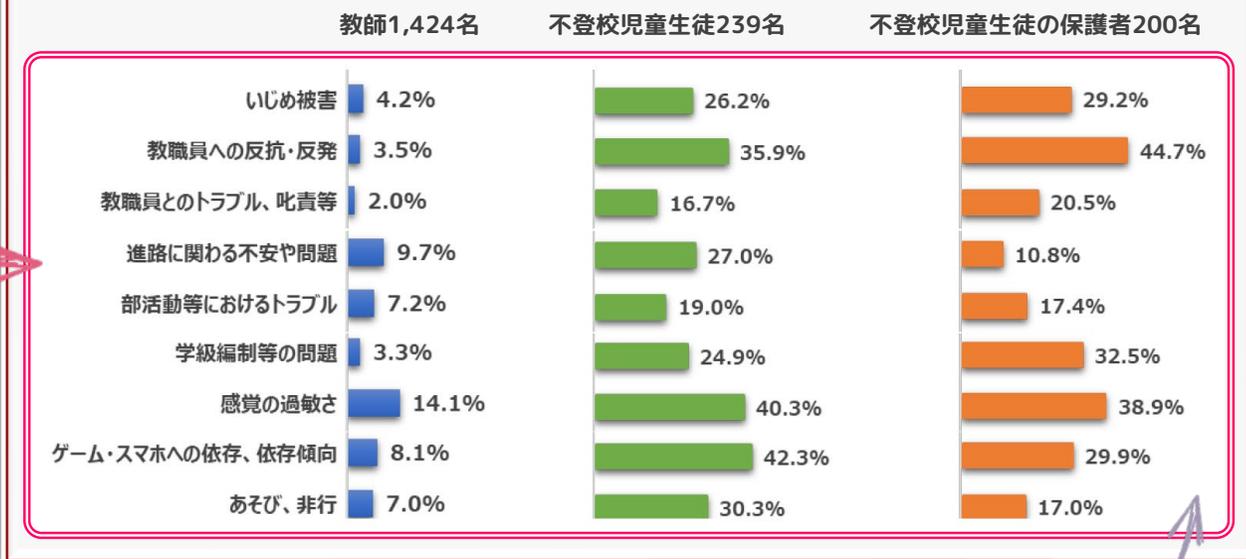
## 不登校対策について



## 文部科学省委託事業『不登校の要因分析に関する調査研究報告書』

### ◆不登校の関連要因について

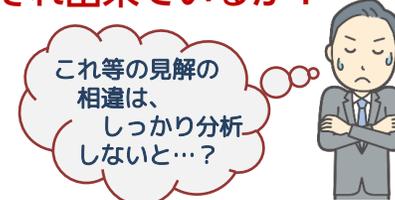
不登校の児童生徒に関する教師、本人、保護者の三者間比較から回答の傾向を把握し、不登校の関連要因を明らかにする。



※教師と児童生徒又は、その保護者との見解に大きな差があるものを抜粋!!

### Q3. 当町の学校においての要因分析は、それぞれ出来ているか？

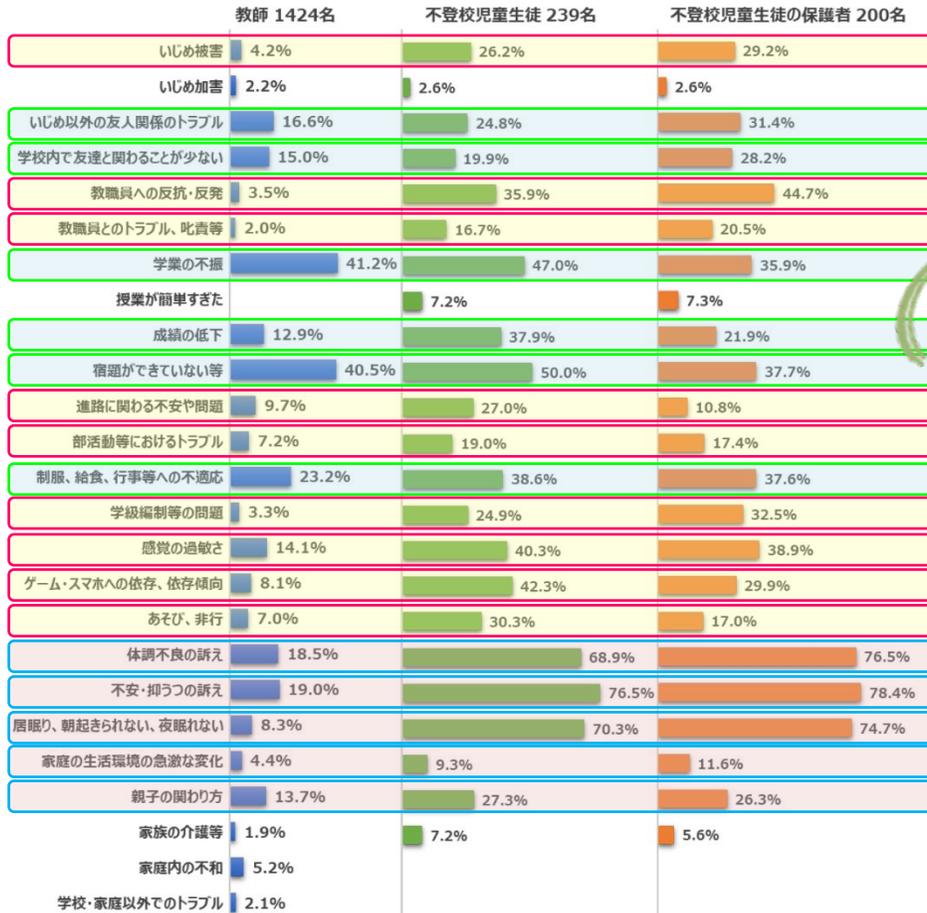
- ⇒ ①「いじめ被害」「教職員との関係性」
  - ②「進路」「部活動」
  - ③「クラス編成(当町においては中学校での学区問題)」
  - ④「感覚の過敏さ」
- ※中には、音や匂いが要因という児童生徒の意見もある。



# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 不登校対策について

「きっかけ要因」について

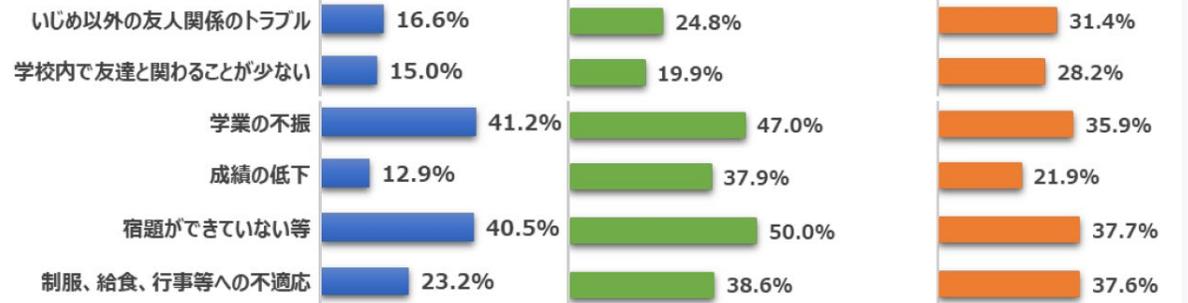


※公益財団法人子どもの発達科学研究所 2024.3月

教師1,424名

不登校児童生徒239名

不登校児童生徒の保護者200名



※教師と児童生徒又は、その保護者も同じ認識としてあげている「学力」や「学校での日常生活」が大きく起因する要因。

### 〔現在積極的に進められている当町の学校での施策〕

- ・校内教育支援センター設置
- ・リソースルームの整備・拡充
- ・教育支援員の増員
- ・教育相談窓口の充実

⇒これ等の施策は、全国的には先行している取り組みのみならず、それでも不登校数は増加傾向にある事を受け止める必要がある。

成果が出ていない訳ではないけど…  
新たな施策は必要だということ？



# 義務教育・学校教育の環境整備について

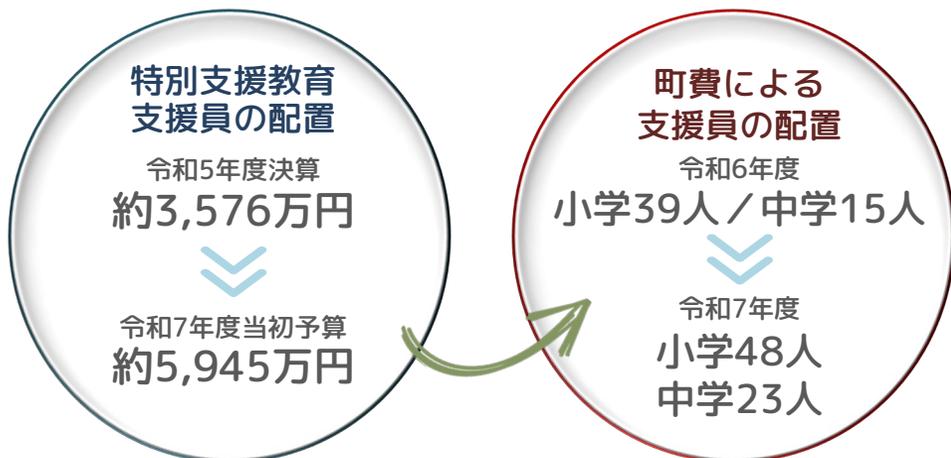
## 不登校対策について

- ・教育現場の改善(改革)としての現状の取り組みや評価のポイント!!
- ・この1～2年で、小中学校全ての学校にリソースルームが開設され、**令和6年度からは「校内教育支援センター」が設置**されています。  
当初予算のお金の掛け方的にも、またソフト面的にも確実に充実されてきている部分は高く評価したいところです。

不登校対策の一助に繋がっている事は素晴らしい!!



### 数値的な評価ポイント



### 校内教育支援センターの評価ポイント

利用実績		登校後		校内教育支援センターを利用していたが、教室のみの生活	不登校から校内教育支援センターへの登校につながった
校種	利用人数	校内教育支援センターのみで生活	校内教育支援センターと教室の併用		
小学校	30	2	28	11	9
中学校	54	16	38	3	11

・なかなか登校できなかった児童が、毎日登校できるようになった。  
 ・家から出ること難しかった児童が、月に1～2日、1時間程度、登校できるようになった。

※令和7年予算特別委員会 学校教育課提出の資料より 2/25

※決してお金をかければ良いという話ではありませんが…、しかし、お金を掛けなければ変えられない環境もあります。  
 “これも一つの教育改革の一端を担っているのでは”と思っています。

## Q4. 現状の取り組みの手応えは？また、支援級も含めた今後の対策として、新しく検討しているものがあるか？

⇒ ・先進的な取り組みが進めば、また、現状の普通級とのバランスが崩れる可能性もあるの中では、どこまで拡げるのかも難しい話では？

# 義務教育・学校教育の環境整備について

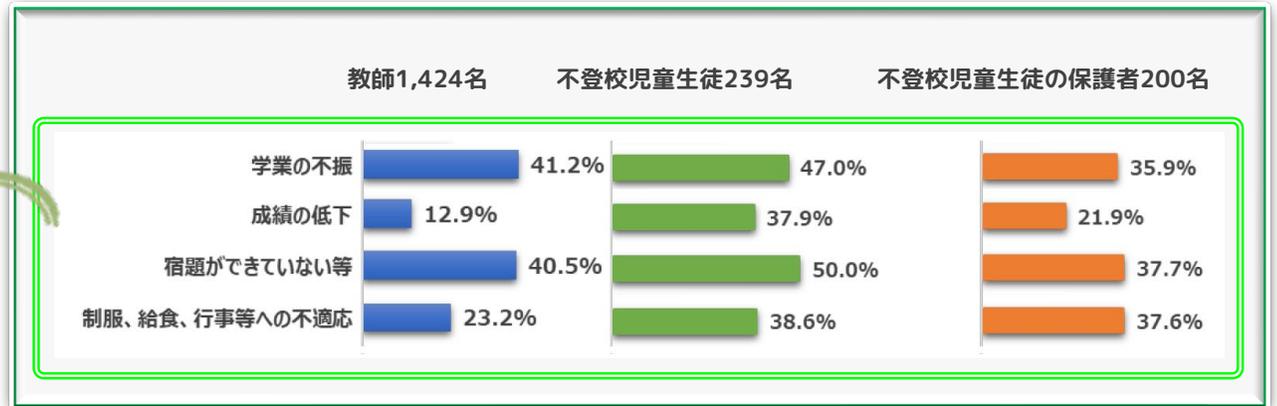
## 不登校対策について

### 学校が「好き」と「嫌い」の回答者では クラスや学校行事、授業に対する印象に違いがあった



(出所) 公益財団法人博報堂教育財団 こども研究所

※「博報堂教育財団の調査研究機関こども研究所」調査資料 2025.9.11 教育新聞より



## 3

### 学校の風土の「見える化」を通して、 学校を「みんなが安心して学べる」場所にします。



- ✓ それぞれの良さや持ち味を生かした主体的な学びがあり、みんなが活躍できる機会や出番がある
- ✓ トラブルが起きても学校はしっかり対応してくれる安心感がある
- ✓ 公平で納得できる決まりやルールがみんなに守られている
- ✓ 障害や国籍言語等の違いに関わらず、色々な個性や意見を認め合う雰囲気がある

※ 文部科学省「COCOLOプラン」(2023. 3月) より

学校で過ごす時間の中で  
最も長い「授業」を改善

## 02

子供たちそれぞれの良さや持ち味を生かし、みんなが活躍できる機会や出番がある授業づくりが行われるよう、不登校特別校の取組等も参考にしつつ、1人1台端末を活用した子供たち一人一人の学習進度や興味・関心等にに応じた指導など、一方通行型でない、子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現し、それぞれが前向きに学べるようにします。

Q5.  
こうした背景を打破するには、  
授業の改善も必要ですが…?

⇒ 「楽校をつくろう!!」プロジェクト等を通して、多くのエビデンスが取れている状況では?

# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 不登校支援事業について

### フリースクール補助制度 実施自治体

〔フリースクール利用者の支援〕※対象者の基準や条件等あり

【東京都】最大2万円 + 品川区・港区・荒川区：最大2万円  
+ 北区：最大1万円

【千葉県】/市原市：最大2万円 松戸市：最大1万円

【滋賀県】草津市・米原市・彦根市・東近江市・守山市・湖南市  
多賀町：最大4万円 日野町：最大1万円

●その他…おおよそ最大1万円～2万円

【長野県/長野市・諏訪市】 【愛知県/大府市・豊田市・みよし市】  
【新潟県/上越市】 【兵庫県/明石市・尼崎市】 【山口県/宇部市】  
【鳥取県/鳥取市・倉吉市・智頭町・八頭町】 【愛媛県/松山市】  
【福岡県/大野城市】 【佐賀県/江北町】 【大分県/日田市・別府市】

甲賀市（人口/87,563人） 小学校/21校 中学校/7校  
⇒令和5年度決算 FS利用者支援補事業 88万9千円(実績)/240万円(予算)

米原市（人口/36,880人） 小学校/9校 中学校/6校  
⇒令和5年度決算 FS利用者支援補事業 19万2千円(実績)

※各自治体HPを参照

※各自治体HPを参照

### 【神奈川県/鎌倉市】

月ごとの利用料等の3分の1の額で、上限1万円を支給

※令和5年度事業費決算額⇒5,993,000円  
(令和6年(2024年)度行政評価シートより)

\*月1万円の満額を12か月支給されたとして計算すると約50人程度利用か？



6月19日開催の鎌倉市議会「教育福祉常任委員会」において、現行のフリースクール助成事業の**利用料等の3分の1という条件を撤廃する陳情**を、全会一致で採択したというニュースも入ってきています。

### 【神奈川県/海老名市】

フリースクール授業料の1/2（上限金額15,000円/月）

※令和6年度よりスタート

少しずつ“輪”が広がっている中で理解が得られた事は何よりの喜び!!



### 近隣自治体の「不登校対策支援」を求めた陳情審査News

【神奈川県/藤沢市議会】 令和7年6月12日 ⇒賛成多数【趣旨了承】

『フリースクール等に通う子どもへの支援についての陳情』

【神奈川県/茅ヶ崎市議会】 令和7年9月9日 文化教育常任委員会 ⇒【採択】

『茅ヶ崎市内の不登校の子どもたちの学びの保障に向けた取り組み』『茅ヶ崎市内の小中学校内外の両面において安心できる居場所の整備と運営支援についての陳情』

【葉山町議会】 令和7年9月25日 教育民生常任委員会 ⇒賛成全員【採択】

『不登校児童生徒への葉山町の支援策に関する陳情』

# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 不登校支援事業について

神奈川県 フリースクール助成事業

### フリースクール等に通う子どもへの支援

対象者：市町村又は市町村教育委員会

※保護者の方に直接補助する制度ではございません。

※お住まいの市町村が事業を実施している必要があります。

■児童・生徒1人につき通所月数×1万円(上限額)or補助金等として支給した経費の3分の1

EX) 仮に年間20人のフリースクール助成事業の利用者がいたとしたら…

月額30,000円支給では県の助成金が10,000円、実質20,000円負担×12か月×20名＝年480万円  
月額20,000円支給では県の補助金が6,600円、実質13,400円負担×12か月×20名＝321万6千円  
月額10,000円支給では県の補助金が3,300円、実質6,700円負担×12か月×20名＝年160万8千円

Q6. フリースクール助成事業化に向けた進捗度は？

⇒ 事業所との連携・確認、制度設計、金額設定等は？

「取り敢えず、近隣自治体の同行に合わせてやってあげばいいだろう…」  
的な発想だけは避け、**保護者負担の実情に即した制度設計**をお願いします!!

浮いたお金の使い道は  
慎重を期すよりも  
それこそ、柔軟な思考で  
新たな視点で  
活用するのモアリ…?



学校給食  
賄材料費  
令和5年度決算  
約1億5008万円  
⇓  
令和7年度当初予算  
約1億8,441万円



### 地方創生臨時交付金（重点支援地方交付金）

6月11日開催の本会議で可決された補正予算で  
**2,253万円**を「**学校給食費の支援**」  
として充てることを可決!!

結果として、令和7年度町費負担(一般財源)で  
充実させるはずだった「学校給食の賄材料費」の  
支出は、国の補助金で補える結果に!!

**有効活用すべきお金が誕生!!**

### 先だっの陳情審査の委員会内の答弁

- ①令和8年度当初予算に盛り込む予定
- ②現在町内10箇所ある事業所に、県の補助制度の要件を満たしているか確認中
- ③引き続き、総合的な金額設定含めスキームを検討中

答弁の中で、

- ・県の補助金の上限が云々…
- ・市と町との財政規模が云々…

何となく  
及び腰の  
ような…?

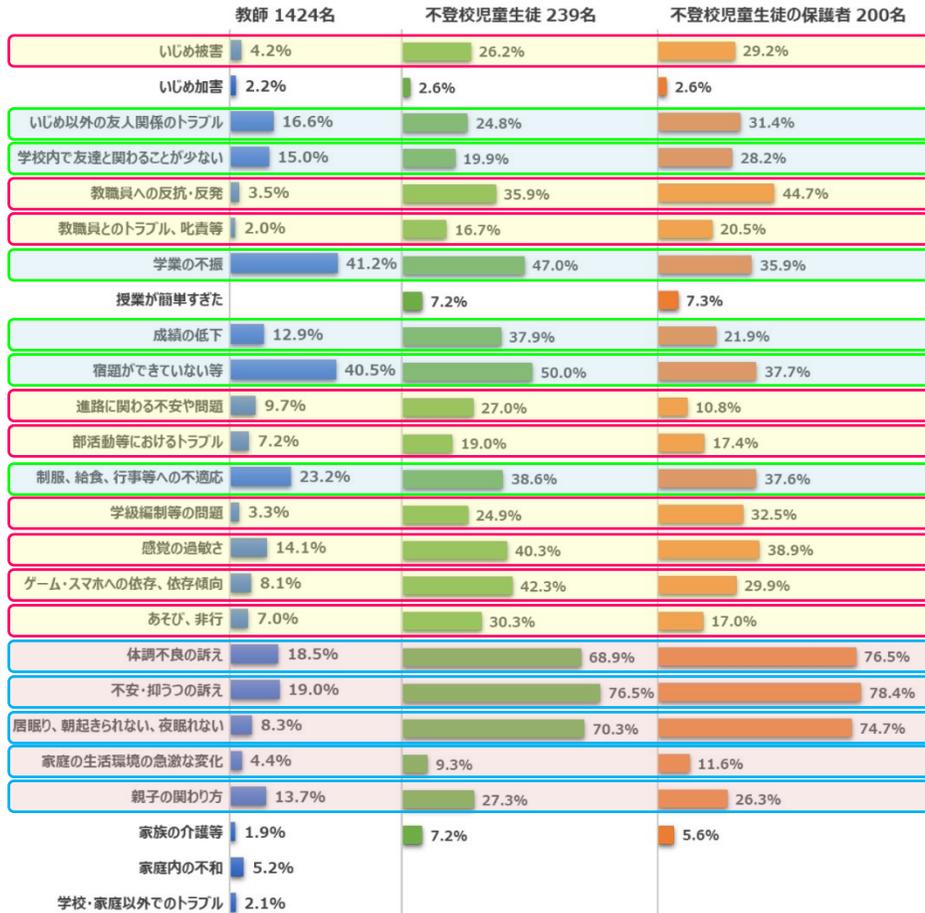
そもそも、県の補助など無くとも先行して  
いる自治体(町村)もある訳で、そこは  
しっかり、葉山独自の施策とするべき!!



# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 不登校対策について

### 「きっかけ要因」について



※公益財団法人子どもの発達科学研究所 2024.3月

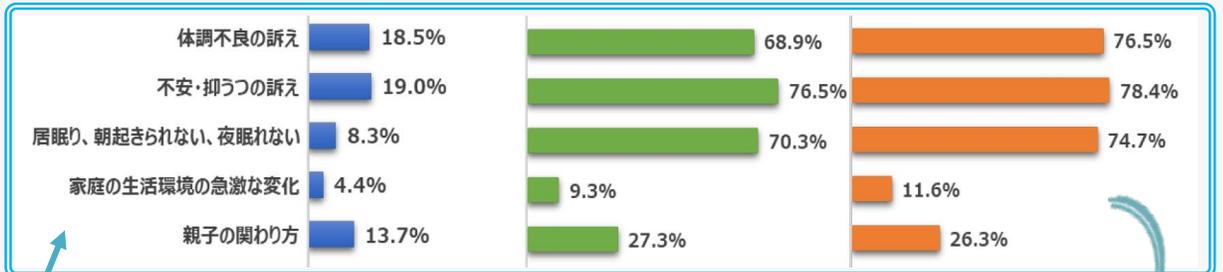


今後の不登校対策にむけた大きな課題は…まさに、この領域要因を抱えた子どもに対するサポート体制をどうするか？です。

教師1,424名

不登校児童生徒239名

不登校児童生徒の保護者200名



家庭が原因の不登校	家庭の生活環境の急激な変化	7.2%
	親子の関わり方	12.4%
	家庭内の不和	7.2%
本人が原因の不登校	生活リズムの乱れ、あそび、非行	3.4%
	無気力、不安	55.3%

※こうした「家庭」や「本人が要因」という領域に、果たして、教育委員会・行政がどのように関わって、対応・対処すべきなのか？できるのか？

陳情提出者から一つの素敵なアイデアを頂きました!!

# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 児童館の有効利活用について

陳情者からの意見（教育民生常任委員会内での質疑応答から）



Q.学校に通えない児童生徒の居場所としてイメージしている所はあるか？

・例えば、町内には各地区に児童館が設置されていて…  
通常は9時から18時まで開設されているので、そこにフリースクール的な要素として自由に入出入り出来るような仕組みを作って欲しい。

現状も自由に入出入り出来るが、扱いとして“公のもの”として広く宣伝して、そのための学びの補償として週1程度で支援員を派遣するなど…制度化してもらいたい。



令和6年7月開催の青少年問題協議会で、参加している児童館支援員から既に同様の扱いに対する提案があったと認識していますが…。

Q7. こうした会議で出た意見などは、課を跨いで共有されているのか？

⇒ 主催は生涯学習課なので、その後、福祉課と連携した話し合いの場はあったか？  
教育委員会としては、学校に通えない児童生徒の居場所対策は、基本、民間のフリースクール等との連携を軸に進めていくとの意向だが？

## 児童館を不登校対策の拠点にした際の可能性

- ①安心して通える居場所  
・家庭と学校の間接的な「緩やかな場」となれる。
- ②地域資源を生かせる  
・既に施設があり、運営主体を含め新設よりコストが抑えられる。  
・地域のボランティアや退職教員を巻き込んだ学びのサポートが可能。
- ③多様な学びの提供  
・学校と違ってカリキュラムに縛られないため、興味関心ベースの学び（アート、音楽、自然体験、ICT活用）が可能。
- ④インクルーシブな地域拠点  
・不登校だけでなく、発達特性や家庭の事情等で学校になじめない子どもも自由に入出入りできる。  
・放課後の居場所機能とも連動できる。

## 児童館を不登校対策の拠点にした際の課題

- ①法制度の位置づけ  
・児童館は「児童福祉法」に基づく施設であり、教育機関ではない。  
・公式な学籍上の保障には課題が残る。
- ②スタッフの専門性  
・児童館職員は必ずしも教育支援の専門家ではない。  
・学習支援や心理的ケアを担うには、外部人材の活用（元教員・スクールカウンセラー・NPO）などが必要。
- ③居場所と学習支援のバランス  
・「勉強する場」として、学校との違いが薄れ、子どもにとっても混乱をきたす可能性がある。
- ④財源と持続性  
・追加の人件費、教材費、プログラム開発費が必要。

# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 児童館の有効利活用について

### 実現に向けたステップの具体例

#### ①試行的な実施

- ・ 児童館で月数回「学びと居場所の日」を設けてみる。
- ・ NPOやボランティア団体と連携して小規模にスタート。

#### ②教育委員会との連携

- ・ 出席扱いの可能性や、学校との情報共有の仕組みを検討。
- ・ 学校と対立しない位置づけと「**チーム学校**」制度の構築。

#### ③地域を巻き込んだ取り組み

- ・ 地域住民・保護者にとっても「子どものための新しい場」と理解してもらうことをしっかりと認識してもらうことが重要。
- ・ 学校を休んでいることが「孤立」ではなく「多様な学びの一つ」と受け止められる環境づくりの推進。

### ◆町内で連携出来そうな子どもサポート団体…



ゆずり葉の会

まだまだ団体はあると思います。



2

心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援します。

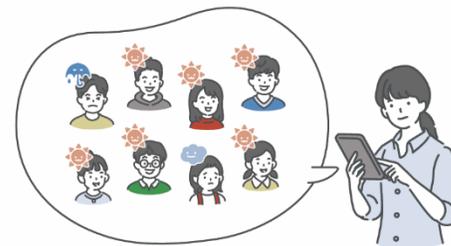
01

### 1人1台端末を活用した心や体調の変化の早期発見を推進

令和5年2月現在 アプリ等を用いた把握を行っている市町村： 411  
今後アプリ等の活用を検討している市町村： 580

子供たちの心身の状態の変化への気付きや相談支援のきっかけづくりを増やすため、毎日の健康観察にICTを活用します。

子供たちが自分の心や体に向き合うきっかけを作るとともに、子供や保護者が相談したいことがあるときにワンタッチで教師やスクールカウンセラーにつながることをできるようになります。



02

### 「チーム学校」による早期支援を推進

SOSをキャッチした後に、教師やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、養護教諭、学校医等が専門性を発揮して連携し、最適な支援につなげることができるよう、スクリーニング会議やケース会議の開催方法・支援方法を確立します。

自分のクラスに入りづらい児童生徒が、落ち着いた環境の中で自分に合ったペースで学習・生活できるようにします。

こども家庭庁とも連携し、子供たちと保護者を包括的に支援するため、必要な福祉部局と教育委員会の持つ子供のデータを連携し関係者で共有します。また、部局間の人事交流や併任発令を促すことにより、福祉部局と教育委員会の連携を強化します。

※文部科学省「COCOLOプラン」(2023. 3月) より

### Q7. 是非とも、児童館を「子どもの居場所」として、新たに整備することの協議を進めてほしい！？

- ⇒ 教育委員会と町がタッグを組む最大の理由にもなり、大きな事業になる!!
- ・ 今年度中に、検討準備委員会の立ち上げ。
- 可能であれば、両担当課からの見解を伺いたい。

※世田谷区「児童館を中心とした子どもの権利の拠点づくり検討会」報告書 2024.3月より



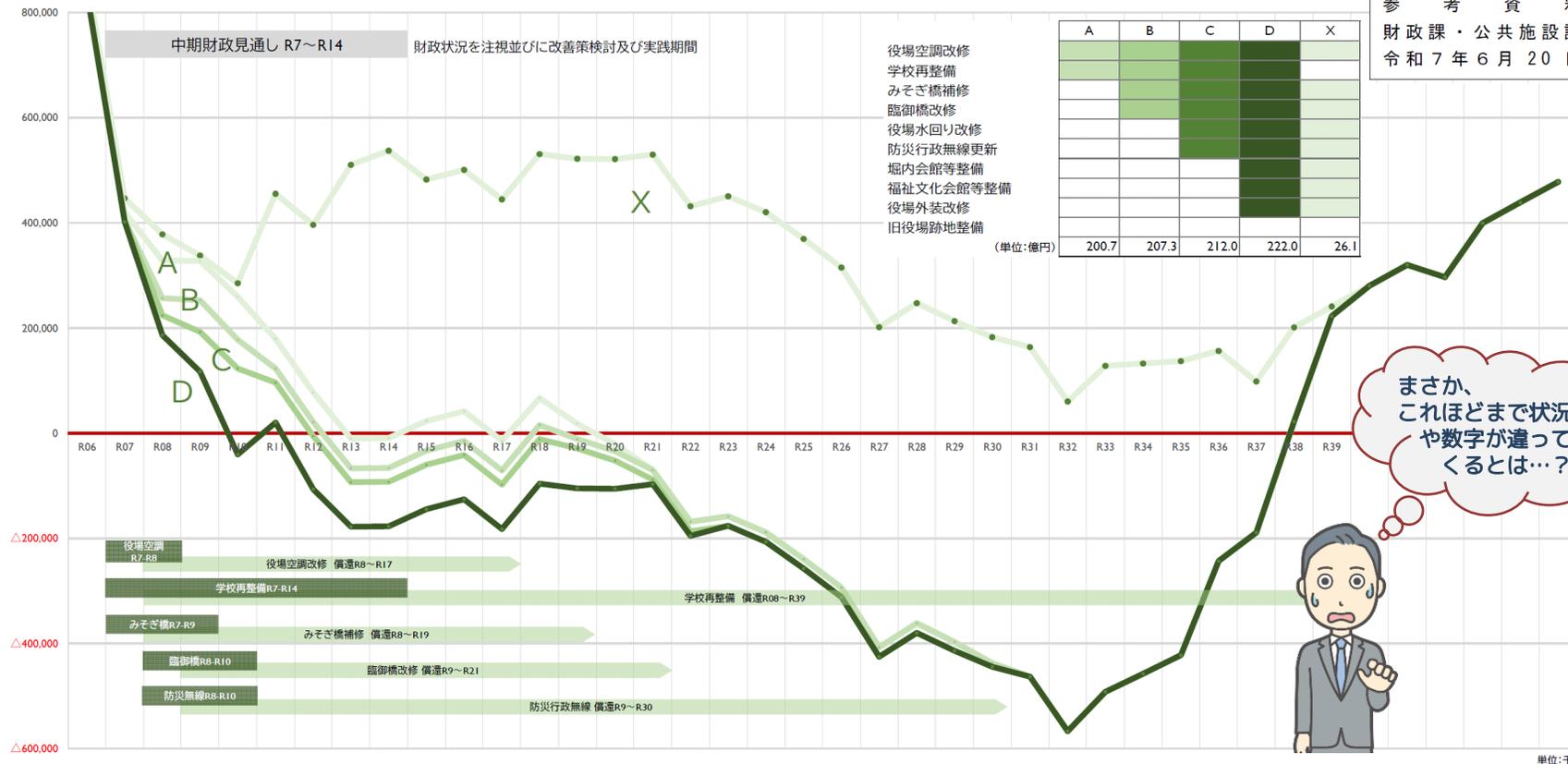
# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 学校再整備の進め方について

6月20日 議員懇談会からのリマインド

「葉山町公共施設等将来構想」「財政シミュレーション」「中期財政見通し」が提示される!!

財政シミュレーション



議員懇談会  
参考資料  
財政課・公共施設課  
令和7年6月20日

令和5年12月提出された資料  
学校の再整備に向けて  
議会説明資料

- ・南郷中学校校区より再編を開始
- ・1校約50億円の整備費

今回提出された整備費は…  
約4倍の1校196億円。

児童生徒の減少傾向も…  
予測を大幅に下回っている。

学校そのものの在り方や、箱としての使い道にも、より一層の工夫とアイデアが必要に。

# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 学校再整備の進め方について

9月25日 教育民生常任委員会にて

教育委員会より「学校再整備に関して」は1年先送りするとの方向性が示される。

説明では、町長の判断によるもの!!との事だったが…

Q1. 様々な角度から慎重にならざるを得ない事は理解しているつもりだが、改めてその真意は？（町長への質問）

⇒ 教育委員会側も些か混乱しているようにも見受けられたが…？

令和7年6月20日 山梨町長より提出された声明

「葉山町公共施設等将来構想」「財政シミュレーション」「中期財政見通し」にあたって。

公共施設整備は、将来の姿を描き、将来のまちづくりへ影響する大変重要な決定であり、それともなう財政支出は多額な経費を必要とし、将来世代へ大きな負担を残すこととなります。そのため、本構想を基本として、今後も常に町民の皆様や議会、関係者の皆様と広く知恵やアイデアをいただきながら、適時適切に公共施設再整備の事業計画を確定させていきたいと考えております。それともない、財政につきましては、随時更新を図る「見通し」として現段階の予測を公表いたします。

独自調査では…

一般会計予算が130億円規模での学校施設建設にかけられる目安は？  
総事業費40～60億円程度までが財政的に耐え得る金額？！。



### 委員会内での質疑・応答

Q.1年先送りした事で教委としてはメリットがあるのか？

A.事業を改めて検証し、町全体の財政の計画を見直す機会にする。

Q.これまで積み重ねてきた計画が遅れる事は不本意では？

A.確かに出来る限り努力をして来た中では、予定通り進めたい想いもある。しかし社会情勢が激変している中では止むを得ない。

A.この1年で葉山中学校区から整備する事の周知と、より多くの町民の理解を得ながら、空間の運用に関して検討を深めていきたい。

Q.約3千万円かけて行った「基本計画」「基本構想」をまとめた作業は無駄にはならないのか？

A.基本的に必要な作業であり、無駄にもなっていない。それなりのニーズ等も把握出来た。



Q2.こうした流れに対し教育長はどう受け取っているか？

⇒ 基本的には、R8年度から設計段階に進められるように鋭意努力してきたはずで、今後のモチベーション等への影響は大丈夫か？

# 義務教育・学校教育の環境整備について

## 学校再整備の進め方について

### 町全体としての協議

- 〔令和7年7月〕  
・葉山小・長柄小のPTA運営委員会にて意見交換
- 〔令和7年8月〕  
・葉山中・南郷中の学校運営協議会と意見交換



### Q3. その他の団体や関係機関との協議や意見交換はあったのか？

⇒ 委員会では、関係者から話を聞きたいと打診を受けたとあったが？

### Q4. 全町的に町民の意見を把握するための動きは？

⇒ 先延ばしした1年の間で進める予定はあるのか？



財政的課題が大きい事は充分承知しています。しかし、どこかのタイミングでは決断が必要です。この1年で、しっかりと分析してください。



加えて…どうか「子ども」を主語にした事業になるように進めて下さい!!



これ等の体制どこまで履行されているのか？

## 今後の推進体制（案）



社会全体で起きている今後の学校の在り方と、地域コミュニティの核となる複合性を兼ねた空間の創出と、フレキシブルに対応できる葉山らしい施設創りに向けて、**実りある時間…、1年にして下さい。**

# 住み続けたい町にするための施策について

## 電動階段昇降機の整備について

長柄ネットワークミーティングから出た意見



### 〔高齢者サロン健康麻雀クラブからの相談〕

- ・足の不自由な方に対する送迎支援をどうするか？という課題
- ・具体的に、車椅子利用者からの参加希望が出た
- ・長柄会館は階段の上り下りが必須でスロープは勾配がきつい
- ・避難所としても利用される施設である
- ・選挙の際の投票所にもなっている

## Q1. 防災や福祉の観点からも、こうしたグッズの整備は必要では？

- ⇒
- ・長柄会館への整備は必須!!
  - ・有事の際の避難所運営にも有効。

後付けの話にはなりますが…

堀内会館の再整備でも、エレベーターを設ける設けないの議論があったが、こうした機器を整備する事で十分補えるのでは？



※amazon.co.jp参照

### 電動階段昇降機

※amazon参考価格 ¥167,530-

#### 商品情報

商品の重量：35 キログラム  
ホイールサイズ：60 センチメートル  
ブレーキのスタイル：電気機械式  
ハンドル：ジョイスティックコントローラー  
推奨最高体重：160 キログラム

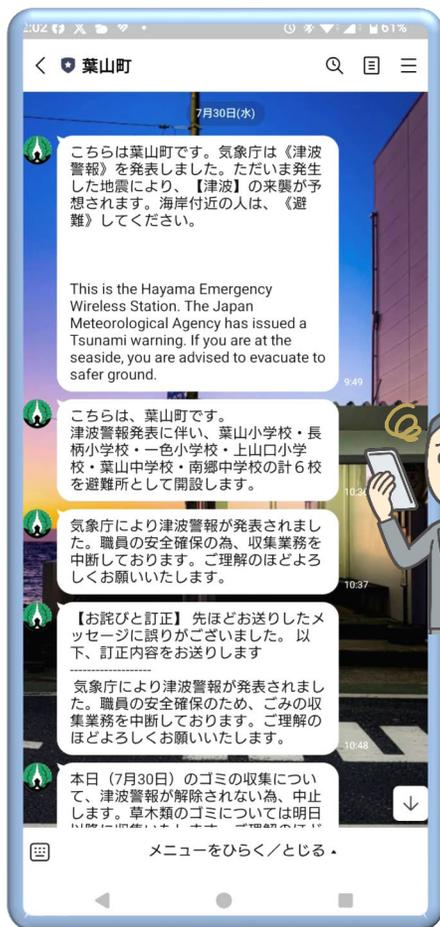
コレ!!  
今後のためにも、  
是非2~3台購入し  
整備しましょう!!



# 住み続けたい町にするための施策について

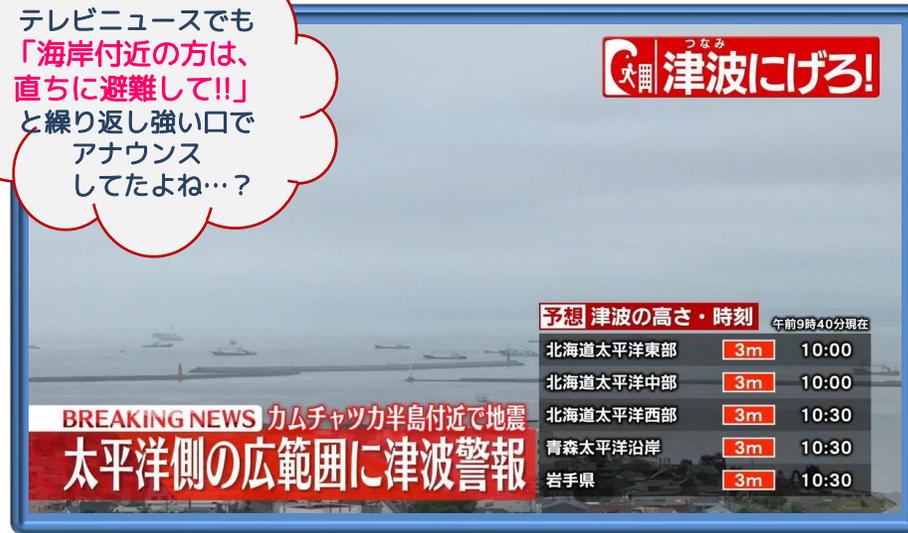
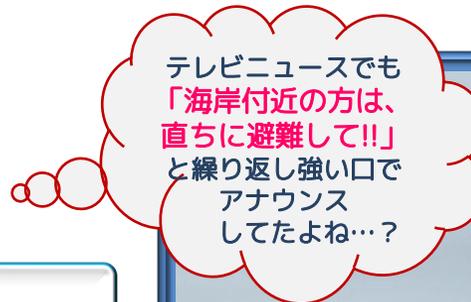
## 防災・減災力の強化、認識と周知方法について

7月30日 津波警報発表後の葉山町の振り返り



### 〔今後ためのそれぞれの振り返りと考察〕

- 避難指示が出た後の町民の動向は正しかったか？  
聞くとところによると、避難をする必要がない町民も避難所に居たとか？
- 学校側の避難所開設と対応はどうだったか？  
夏休み中との事で比較的スムーズに対応できていて、暑さ対策として冷房設備がある教室を開放したとか？
- 避難者から水や食事の提供要望があったか？  
メディア等でも直ぐに非難するようにとのアナウンスがあり、何も持たずに避難した人から催促があったと聞くが対応はどうだったのか？
- 消防団車輛の津波回避行動はどうだったか？  
津波浸水エリアではない分団車輛を避難させたのは何故か？
- 公共交通がストップしたことで避難所に宿泊者がいた？  
電車もバスも動かさずで、結果、帰宅できない町外からの観光客がいたとか？



※テレ朝NEWS(テレビ朝日) 2025.7/30

- Q1. 改めて、津波警報発令後の振り返りとして、それぞれの状況はどうだったのか？  
⇒ 防災安全課、教育委員会(避難所対応)、環境課(ごみ収集)
- Q2. 有事の際にとるべき行動や考え方、防災マップ等の再認識、共有等を図るべきでは？  
⇒ ・メディアで流される情報も決して確かではない!!  
・線状降水帯のような短時間での豪雨に対する認識や備え

今回は、夏休み期間中だった事が幸いだった?!!

# 庁舎内の環境整備について

## 庁舎内職員の写真名簿作成・開示について

石岡の想い…

とても  
心苦しく  
思っています。



〔役場の職員の顔と名前が一致しない〕

- お願い事をしたり、よく会話をする割には名前すら覚えられていない。
- ・ 委員会等で説明に来られる職員すら、全て覚えきれていない現状に加え最近では、会計年度任用職員の出入りが影響しているのか、特に知らない職員が増えたような気がします。
- ・ 色々な課の窓口に向って質問したり、相談したり…そんな時、いつも迅速に丁寧に対応頂いているにも関わらず、次に顔を合わせた際は、名前を呼んでお礼すら言えないジレンマ…を抱えています。

議員という立場からは、こうしたお願いがハラスメントに当たらないか？正しい考え方なのか？も些か不安でもありますが…

町職員の顔写真入りの名簿がデータ化され、議会や関係者内で閲覧することが出来たら、有効なコミュニケーションに繋がると思っていますし、どんなに有難いことか!! と思います。

〔町の職員とも話す機会がありました〕

- ・ 確かにあったら我々にとっても有難いと思います。
- ・ 職員間でも、名前と顔が一致せず困ることがあります。名簿で確認取れたら、もっと話しやすくなると思います。



必要な情報だけ  
特定のグループで  
共有できる

カスタム社員名簿



※株式会社SmartHRより

Q1. 写真入り名簿のデータ化と共有システムを検討してほしい。

⇒ 名前(フリガナ)、写真、所属、役職、所属年数…程度の名簿で!!